

阿蘇市生活排水処理施設整備計画(エリアマップ)素案

平成 22 年 10 月

阿蘇市

1 阿蘇市生活排水処理施設整備計画(エリアマップ)策定の目的

現在、阿蘇市の生活排水処理施設整備は、平成15年6月に策定されました「熊本県生活排水処理施設整備構想」に基づき推進されていますが、地域社会や財政状況の変化等により実態と乖離してきていることから、同構想を見直し、より効率的かつ経済的な生活排水処理施設整備の将来の全体像を示すことが必要となっています。

また、生活排水処理施設の整備を着実に促進していくため、中期的な目標年度と目標整備率を定めた推進プログラム(計画)を明らかにする必要があります。

そこで、生活排水処理施設整備計画(エリアマップ)は阿蘇市の生活排水処理施設整備の指針とするため策定するものです。

2 現状と課題

① 阿蘇市の生活排水整備状況

現在、阿蘇市では公共下水道及び合併浄化槽の污水処理施設整備を推進しています。

平成21年度末現在の整備状況は、公共下水道事業では5,503人を、合併浄化槽では9,127人を整備し、阿蘇市総人口(29,000人)の50.4%の整備率となっています。

污水処理施設の整備状況

		下水道	農集排等	浄化槽	コミプラ	合計
熊本県構想 (県全体目標)	普及率 (%)	67.5%	21.6%	10.9%	0%	100%
H21年度末 (阿蘇市状況)	人口 (人)	5,503	0	9,127	0	14,630人 (総人口29,000人)
	普及率 (%)	19.0%	0.0%	31.5%	0.0%	50.4%

② 維持管理について

公共下水道事業では、全体計画579haのうち291haを整備していますが、整備率が約50%とまだまだ長期の整備が懸念されます。また、供用開始(昭和61年4月)から24年を経過していることから、平成21年度から浄化センターの大規

模改修に着手していますが、敷設後、30年を経過しております汚水幹線管渠の改修も急がれ、多額の事業費が必要となっています。

合併浄化槽事業では、個人の責任のもと行われていることから、一部管理の十分でない場合も見られます。

③ 地方財政状況等

生活排水施設の整備には多額の費用を要しますが、近年の地方財政のひっ迫により、今後は事業予算の拡大が容易でなく、さらに高齢化等により個人の負担に多くを期待できないことから、できる限り建設コストの縮減を図るなど、より経済的かつ効率的な施設整備を進める必要があります。

3 生活排水処理施設整備構想の内容

本構想(エリアマップ)では、阿蘇市の生活排水処理施設整備計画は、昭和60年度から進めております阿蘇市公共下水道事業の全体計画区域を引き続き公共下水道事業で、それ以外の区域を個人設置型の合併浄化槽処理施設での整備を進めていきます。

※ 別添図面(阿蘇市生活排水処理施設エリアマップ)参照

4 構想の推進

公共下水道、合併浄化槽等を連携して整備することにより計画的かつ面的な生活排水処理施設整備を推進します。また、生活排水処理施設の円滑な整備促進や個人管理の合併浄化槽管理が適正に行われるよう広報・啓発を推進します。

生活排水処理施設整備には、多額の事業費により長期的な財政措置等を要することから、補助制度の改善や地方財政措置の充実などについて、国・県に対しての働きかけを進めます。